



平成 16 年 10 月 28 日

各 位

会社名 タカラバイオ株式会社
 本社所在地 滋賀県大津市瀬田三丁目 4 番 1 号
 代表者の 代表取締役社長 加藤 郁之進
 役職氏名 (コード番号 : 4974 東証マザーズ)
 問合せ先 常務取締役財務部長 木村 睦
 電話番号 (077)543-7235
 URL <http://www.takara-bio.co.jp/>

平成 17 年 3 月期の業績予想について

平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日) における当社グループ及び当社の業績予想は、次のとおりであります。

1. 通期 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日) の業績予想

【連結通期】

(単位: 百万円・%)

項目	決算期	平成 17 年 3 月期 (予想)		平成 16 年 3 月期 (実績)		
			構成比	前年比		構成比
売上高		15,616	100.0	114.9	13,592	100.0
営業利益		3	0.0	-	265	1.9
経常利益		153	1.0	-	128	0.9
当期純利益		5	0.0	-	62	0.5
1 株当たり当期純利益		22 円 80 銭			2,493 円 04 銭	

【単体通期】

(単位: 百万円・%)

項目	決算期	平成 17 年 3 月期 (予想)		平成 16 年 3 月期 (実績)		
			構成比	前年比		構成比
売上高		14,557	100.0	112.9	12,892	100.0
営業利益		224	1.5	-	261	2.0
経常利益		89	0.6	104.8	85	0.7
当期純利益		15	0.1	9.2	167	1.3
1 株当たり当期純利益		58 円 59 銭			7,467 円 53 銭	
1 株当たり配当金 (1 株当たり中間配当金)		- 円 - 銭 (- 円 - 銭)			- 円 - 銭 (- 円 - 銭)	

ご注意: この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書 (並びに訂正事項分)」をご覧くださいの上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

2. 中間期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）の業績見込み

【連結中間期】 (単位：百万円・%)

項目	決算期	平成 16 年 9 月中間期（業績見込み）	
			構成比
売上高		6,373	100.0
営業利益		954	15.0
経常利益		930	14.6
当期純利益		654	10.3
1 株当たり当期純利益		2,947 円 89 銭	

【単体中間期】 (単位：百万円・%)

項目	決算期	平成 16 年 9 月中間期（業績見込み）	
			構成比
売上高		5,920	100.0
営業利益		1,053	17.8
経常利益		838	14.2
当期純利益		546	9.2
1 株当たり当期純利益		2,463 円 51 銭	
1 株当たり配当金 (1 株当たり中間配当金)		- 円 - 銭 (- 円 - 銭)	

- (注) 1. 平成 16 年 3 月期の 1 株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
 2. 平成 16 年 9 月中間期の 1 株当たり当期純利益（業績見込み）は、期中平均発行済株式数により算出し、平成 17 年 3 月期の 1 株当たり当期純利益は、新規上場に伴う 40,000 株の公募新株発行を含めた予定期末発行済株式数 262,000 株により算出しております。
 3. 当社は平成 16 年 7 月 22 日付で株式 1 株につき 10 株の株式分割を行っております。そこで、株式会社東京証券取引所の引受担当者宛通知「上場申請のための有価証券報告書（の部）の作成上の留意点について」（平成 16 年 8 月 16 日付東証上審第 460 号）に基づき、当該株式分割に伴う影響を加味し遡及修正を行った場合、平成 16 年 3 月期の 1 株当たり当期純利益は、249 円 30 銭（連結）、746 円 75 銭（単体）となります。

【平成 17 年 3 月期の業績見通しの前提条件】

1. 連結通期

(a) 売上高

バイオテクノロジーの研究開発が行われている大学や企業への現時点までの売上実績をもとに、平成 17 年度の科学研究費の予算金額及びその執行状況等を勘案し、研究用試薬、理化学機器及び研究受託サービスの売上を見積もって計上しております。また、平成 16 年 9 月に竣工した新工場から出荷されるホンシメジの売上寄与分も計上しております。

(b) 売上原価

事業分野別製品別に、過去の実績値を参考に原価を見積もって計上しております。

(c) 販売費及び一般管理費

遺伝子治療の臨床試験準備費用や、キノコのゲノム解析等の研究開発の実施により、販売費及び一般管理費は前期比 888 百万円の増加（うち、研究開発費は 594 百万円の増加）を見込んでおります。

2. 単体通期

連結通期と同様の前提条件で業績予想を作成しております。

以上

ご注意：この文章は一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行うに際しては、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。